

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDFファイルに変換した後、ホームページに貼り付けてください。

学校名	熊本大学	個人・グループ名	岡田 拓也	作品名	真鑄の焼印
-----	------	----------	-------	-----	-------

### ■製作の動機

木材加工に関してはいくつもの作品を製作しており自信があるが、金属加工の経験が少なかったため、今回「真鑄の焼印」の製作を行い、技術の向上を図った。

### ■手順

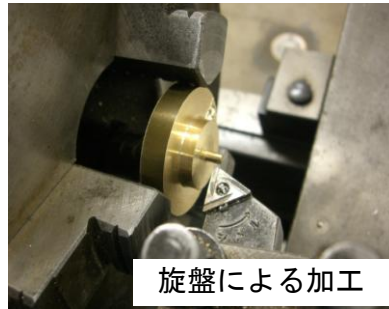
- ① 直径 50mm の真鑄の丸棒を旋盤により、適切な大きさに切断。
- ② 旋盤により取っ手を取り付けるための下穴をあける。
- ③ 適切な大きさにした丸棒にマジックでデザインを下書きし、ミニルーターを用いて形を彫る。
- ④ ②であけた穴にタップでめねじを切り込む。
- ⑤ 取っ手となる長さ 450mm の針金にダイスでおねじを切り込む。
- ⑥ 取っ手を万力に固定して金づちで曲げ加工を行う。
- ⑦ 取っ手と印を合わせて完成。
- ⑧ ガスコンロを用いて加熱し、木材に押印する。

### ■特徴

- デザインは自分の名前の一文字を簡単にイラストの様にしている。
- 取っ手は持ちやすくするために先端 25mm のところで 45 度、印の部分から 300mm のところで 180 度折り曲げた。

### ■学んだこと

- この「真鑄の焼印」の製作では、旋盤による切削加工、ルーターによる彫刻、タップ・ダイスによるねじ切り、万力と金づちによる曲げ加工を体験した。
- 金属加工の経験は少なかったが、実際に製作することを通して、また他のものを作りたくなった。生徒用の製作題材としても有効であると思った。



旋盤による加工



万力による固定



ルーター



彫り加工



ダイス



ダイスによるねじり



加熱



完成品



焼付



押印